

**ONKYO.**



**【訂正】 2017年3月期 営業利益大幅改善  
～2017年3月期決算ハイライト～**

**2017/5/30  
オンキヨー株式会社**

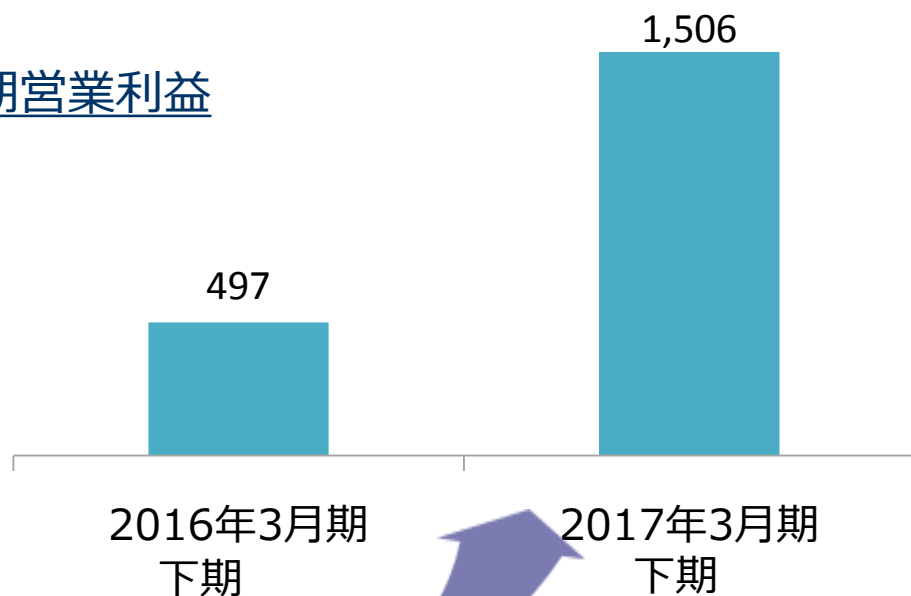
## 2017年3月期 トピックス

- **下期最高益で営業利益大幅増 黒字転換を実現**  
**本業で稼げる体制整備 確実なV字回復路線へ**
  - **全セグメントにおいて通期黒字達成**  
**A V事業の回復 と デジタルライフ事業の躍進**
- ⇒ **堅調な本業によるV字回復のスタート**

# 営業利益 大幅増で黒字化

パイオニアホームAV事業との統合効果の本格的な表れ、デジタルライフ事業の新しいチャレンジ等により、下期において上場以降過去最高の営業利益達成  
通期でも大幅に改善し営業黒字達成

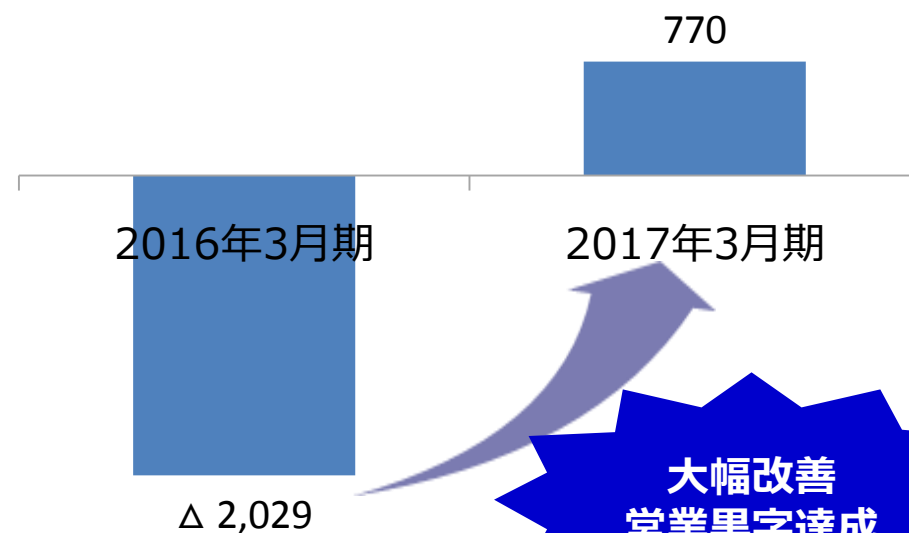
下期営業利益



下期において  
過去\*最高益

\*JASDAQ上場以降

通期営業利益

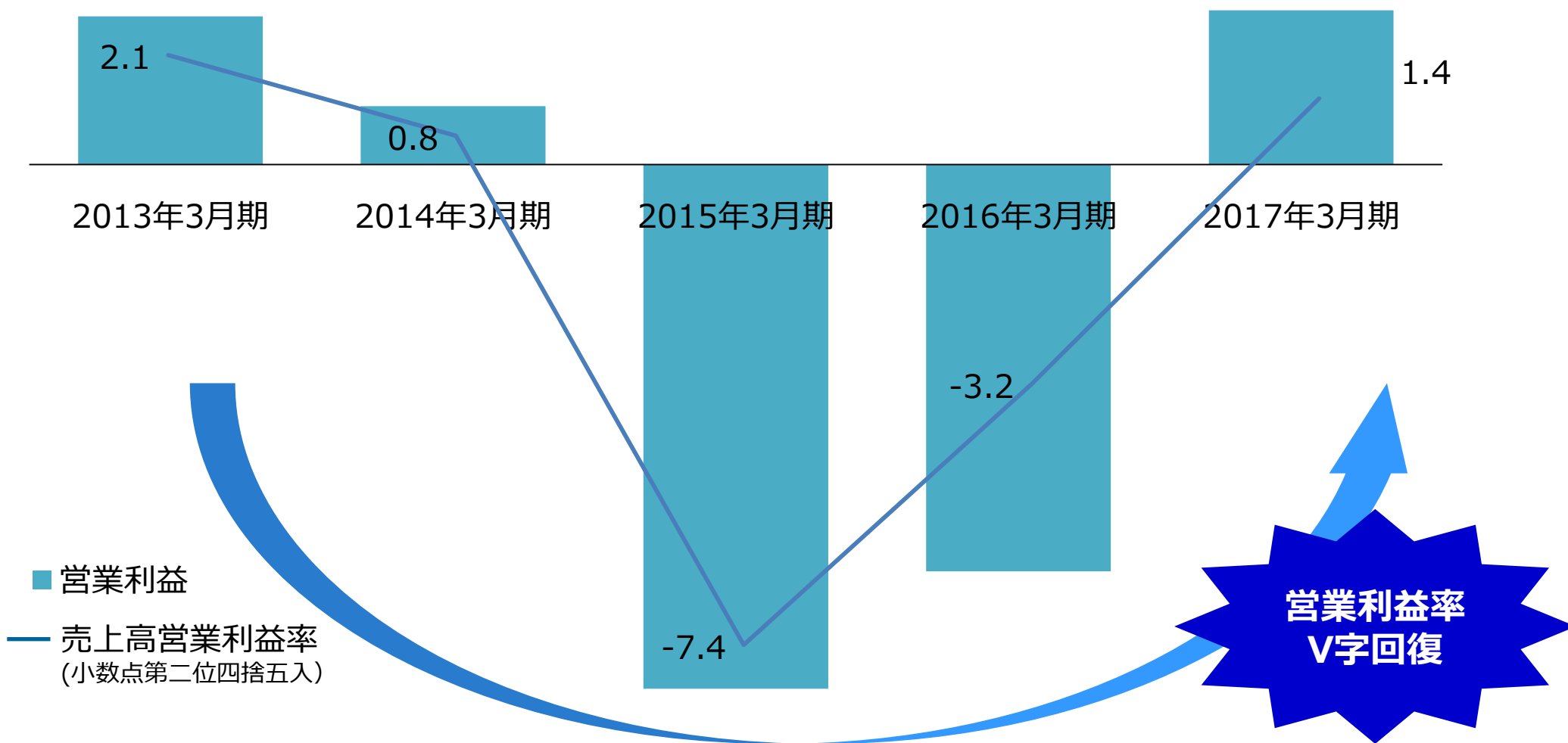


大幅改善  
営業黒字達成

単位：百万円

# 営業利益率 改善

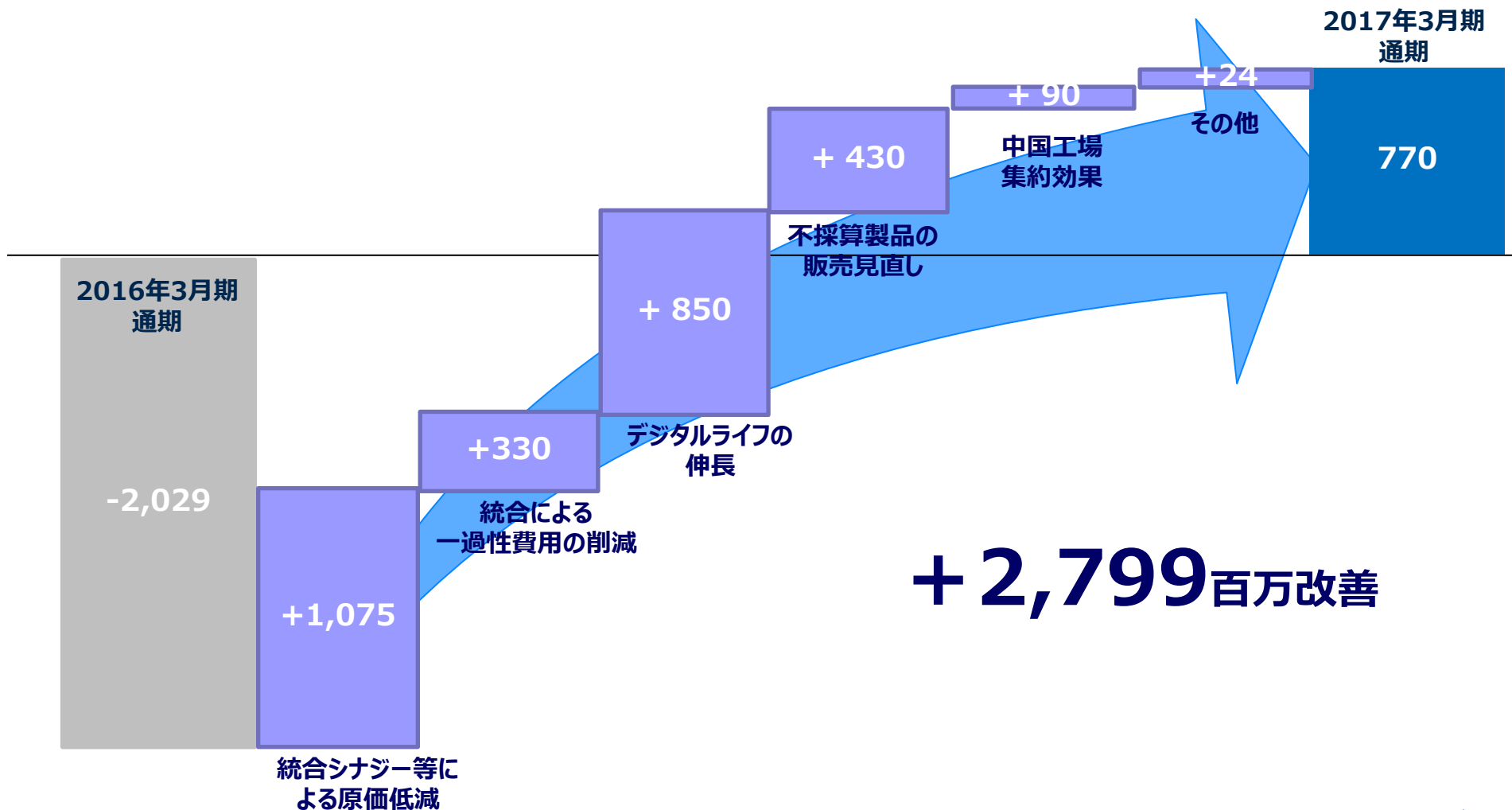
通期 売上高営業利益率伸長 本業で稼げる体制を整備



単位：%

# 2017年3月期 営業損益黒字化 増益要因

AV機器での統合シナジー効果実現やデジタルライフ製品の販売伸長

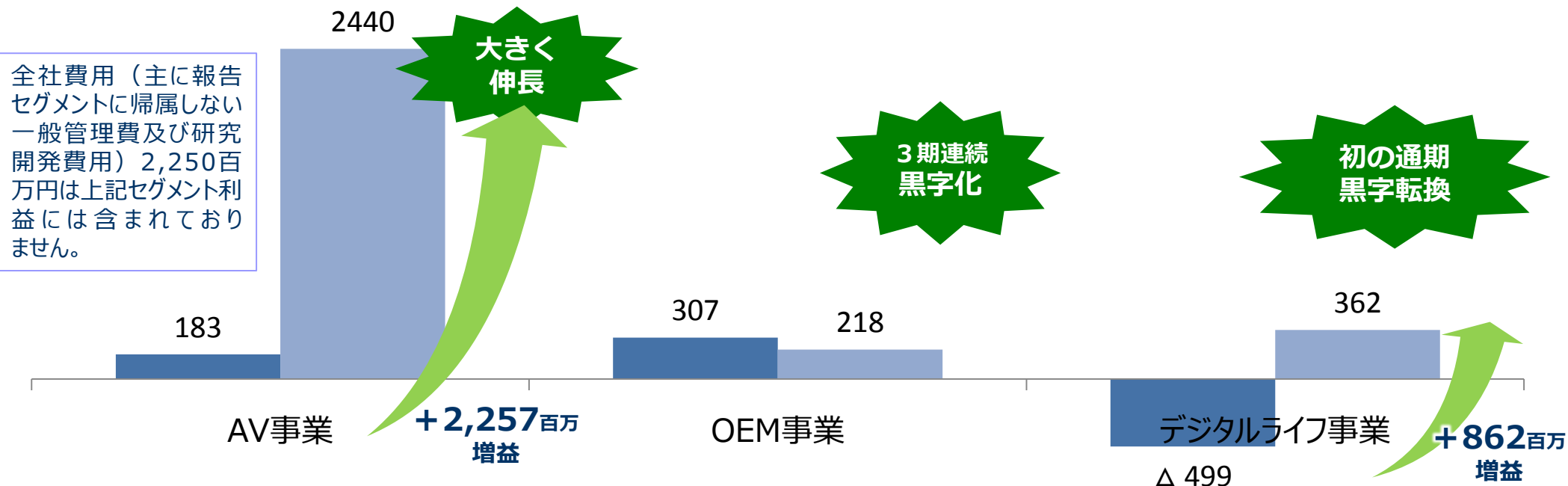


単位：百万円

# 全セグメント 通期黒字化と主たる要因

【セグメント別損益比較】

単位：百万円



## AV事業における大幅利益増、デジタルライフ事業の通期黒字化

- AV事業** 統合によるシナジー効果の実現や不採算製品の見直しの継続に加え、円高ドル安による製品原価低減により大幅増益 オンキヨーブランド・パイオニアブランドとも黒字化
- OEM事業** 車載用スピーカーの堅調な推移、中国内工場の集約に伴う生産効率改善。次世代ヘッドホン開発への先行投資を実施した結果、減益となるも3期連続黒字化
- デジタルライフ事業** DAPの販売伸長、ヘッドホンやイヤホンなどラインアップ強化による販売拡大、ハイレゾスマートフォンの市場投入により、初の通期黒字転換を実現

## 更なる成長に向けた取り組みについて（AV事業）

オーディオ

### e-onkyo musicとの連携強化 PCレスのハイレゾオーディオへ



- e-onkyo musicから楽曲をネットワークレシーバーなどに接続したHDDに直接ダウンロード。PCレスでもハイレゾ音源を簡単に楽しめることになりユーザー層が拡大

AV

### Dolby Atmos®、DTS:X™など最新の オブジェクトオーディオに対応



- Dolby Atmos®とDTS:X™の三次元音場再生対応製品の拡売。イネーブルスピーカーも好評
- ハウスメーカーと提携したインストールビジネスで集合住宅など新分野市場を開拓

- 「Chromecast搭載」機能で新しい音楽、映像体験を提供。対応ソフトウェア無償アップデートを開始し、スマホやタブレットの対応アプリを使ってAVレシーバーなどで各種コンテンツがキャスト可能に

## 更なる成長に向けた取り組みについて（OEM事業）

### 合併事業によるインド工場 他社協業による事業拡大



- 自動車部品のリーディングカンパニー：  
UNO MINDA GROUPとの合併事業による  
スピーカー生産工場設立、2017春生産開始
- 中国工場を含めた生産拠点の最適化が進行  
さらなるコスト競争力を目指す

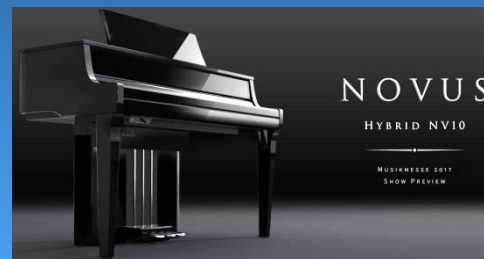
### 独自開発のヘッドホンドライバー 完成品のOEM生産が拡大



Double Zeroヘッドホン

- 世界的に著名な  
アーティストZEDD  
プロデュースの  
ヘッドホンを受託生産

### 河合楽器製作所との協業



- 当社オーディオ技術  
を搭載した次世代  
デジタルピアノの  
製品化が進行



## 更なる成長に向けた取り組みについて（デジタルライフ事業）

### ハイレゾ対応のDAPラインナップ強化 Lightning端子対応イヤホンも好調



- 完全フルバランス回路搭載の小型DAP発売  
モバイル機器のラインナップを拡大
- 世界初、iPhoneに充電しながら通話や音楽  
を楽しめるLightning接続のインイヤードホンRAYZ Plus

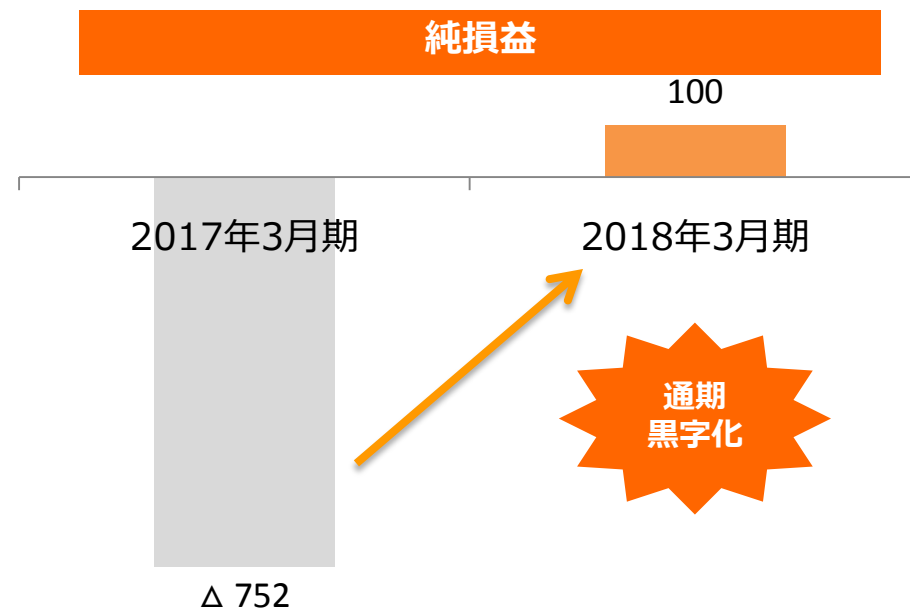
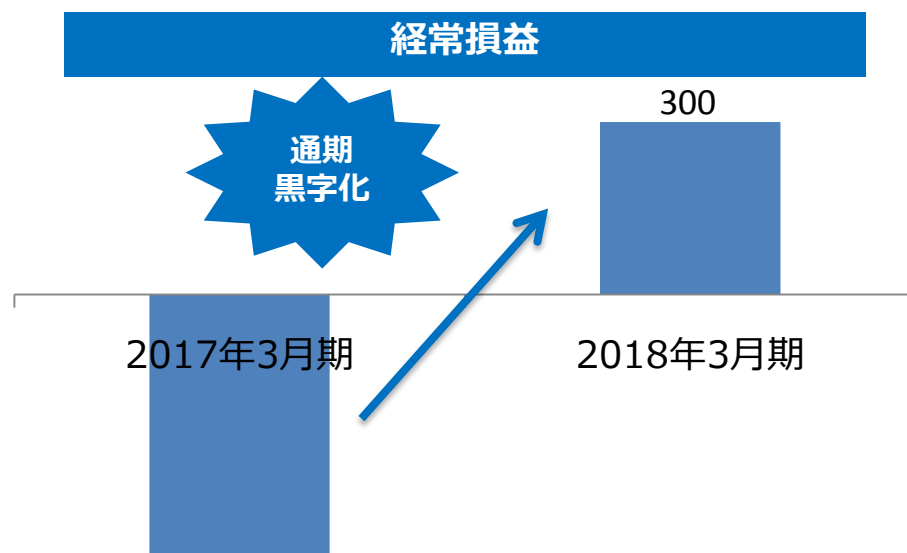
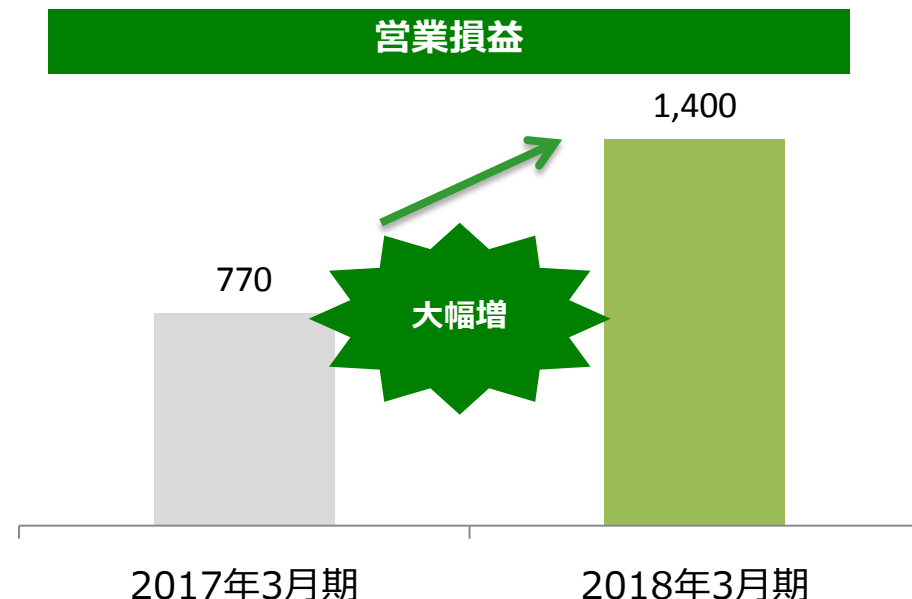
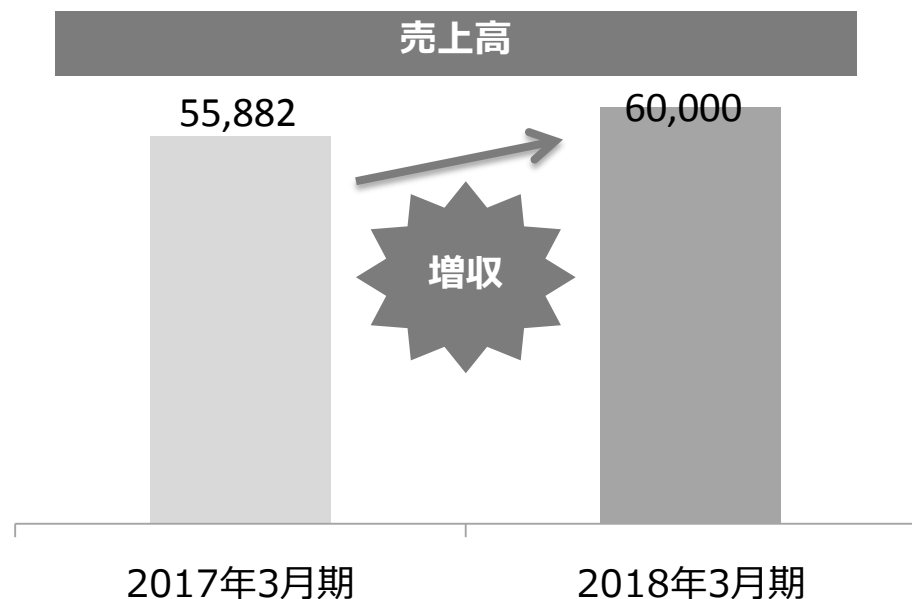
### IoT、AIに対応製品の開発により 進化するエコシステムの構築へ



- 「Amazon Alexa音声サービス」に対応  
したスマートスピーカー VC-FLX1の海外  
発売を目指して開発進行中
- 音声認識を中心とするAI製品の開発および  
IoT機器とのネットワーク化などにより、  
さらに進化するエコシステムの構築を目指す

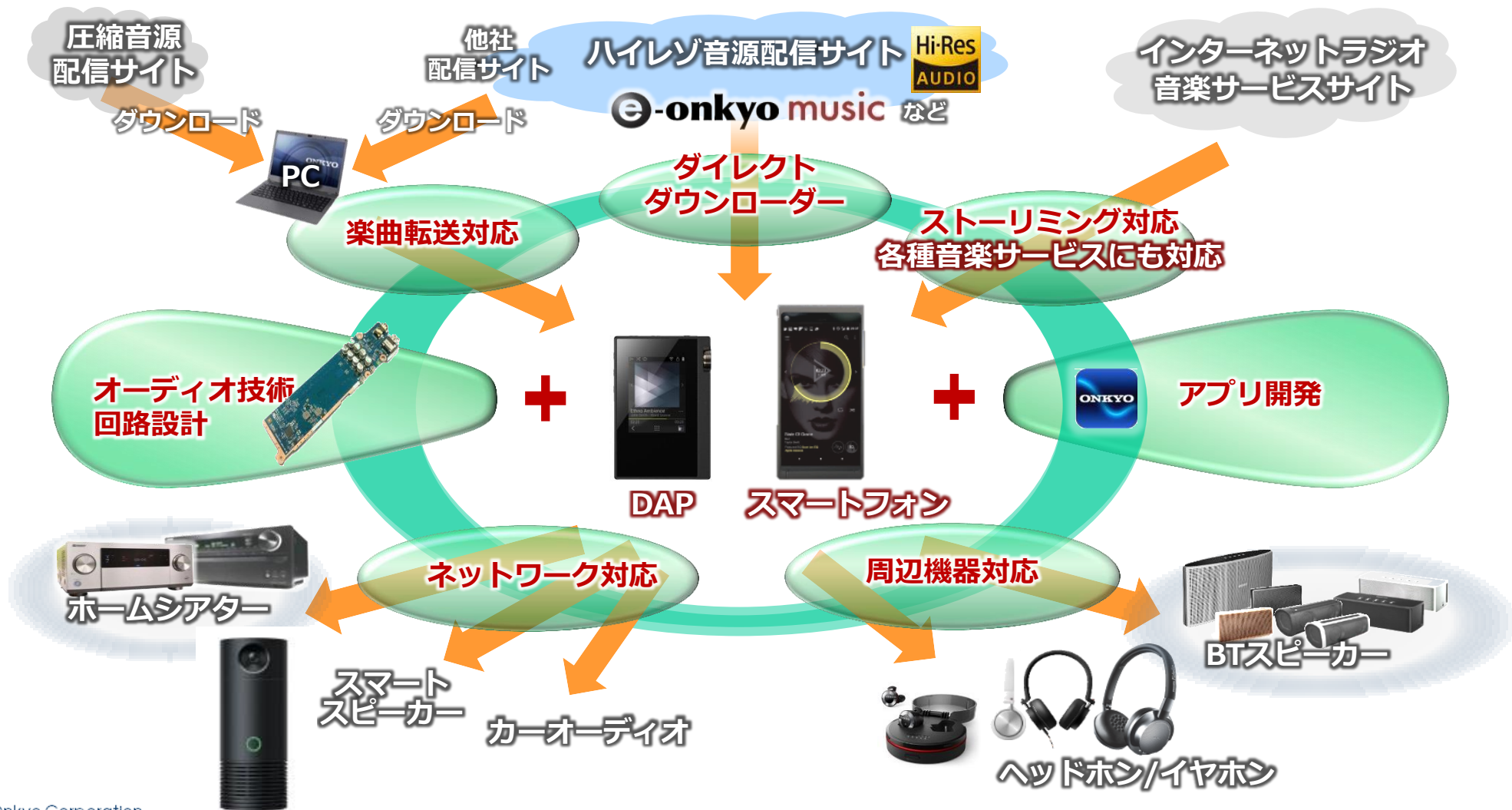
# 2018年3月期 連結業績予想

単位：百万円



# オンキヨーの目指すエコシステム

IoT、AI時代を見据えた次世代製品の開発や協業を通じて、スマートフォン、DAP、スマートスピーカー等を中心に新しいライフスタイルを提供



# ONKYO®

本資料に記載されている業績や見込、将来に関する記述等は資料作成時点において入手可能な当社およびその関係会社の情報に基づいて予測し得る範囲内で当社が作成したものであります。これらの記述はリスクや不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性に関する責任を保証いたしません。実際の業績は今後様々な要因により異なる結果となる可能性があります。本資料における第4四半期の見込値は、当該四半期累計期間値または通期業績見込値から前四半期累計期間値を差し引いて算出したものであるため、実際の第4四半期の値と誤差が生じる場合がありますが、その差額は百万円未満です。なお、本資料に関する全ての著作権その他の権利は当社に属します。